

**平成 29 年度 介護給付費適正化推進特別事業  
事業報告書**

平成 3 0 年 3 月 3 1 日

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会



## 目次

A. 本事業実施の背景・目的	1
(1) 背景・目的	1
(2) 事業内容	1
B. 事業の実施結果	2
1. 事業者向けセミナーの開催	2
2. 「入居希望者・事業者向け 入居契約チェックリスト」の策定	14

- (別冊) ○入居希望者・事業者向け 入居契約チェックリスト  
        ○セミナー資料

## **A. 本事業実施の背景・目的**

### **(1) 背景・目的**

大阪府では、「有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅(以下、「高齢者向け住まい」という。)」の設置数が全国1位となり、その定員数は介護保険3施設を上回るに至った。

他方で昨年度に府が実施した高齢者保健福祉計画審議会専門部会において、11市町の高齢者向け住まいについて調査したところ、要介護度3以上の入居者については介護老人福祉施設よりも給付率が上回っていることが判明している。

そこで本事業では、消費者に対し、高齢者向け住まいを比較選択する際に重要となる事柄を取りまとめて啓発し、事業者には入居契約に際して求められる重要なポイントを示し、介護給付の適正化や質の向上に必要な取り組みを行うこととした。

こうした取り組みにより高齢者向け住まいの適正化を図ることで、府内の消費者が安心して住まいを選択する上での一助とする。

### **(2) 事業内容**

#### **1. 事業者向けセミナーの開催**

有識者・専門化により介護給付費の適正化・サービスの質向上に向けた講演を実施する。また、事業者の質向上へのインセンティブとして高齢者向け住まいの事例研究結果や好事例の発表を行い、事業者のモチベーションを高める。

#### **2. 「入居希望者・事業者向け 入居契約チェックリスト」の作成**

公益社団法人全国有料老人ホーム協会が有する事業ノウハウ、各地の消費生活センター等が取り扱った苦情事例、等に基づき、

- ①消費者が高齢者向け住まいを選択する場合、従来のようなホーム間の比較検討のためでなく、選択しようとするホームの「入居契約」内容に関して注意すべきポイントを取りまとめる。
- ②事業者に対し、入居契約を締結する上で留意すべき点、入居後の介護保険給付において留意すべき点、「有料老人ホーム設置運営指導指針」を遵守するためのポイント、等を取りまとめる。

## B. 事業の実施結果

### 1. 事業者向けセミナーの開催

#### (1) 実施概要

大阪府を主催者として、府内の有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の事業者を対象に、以下のセミナーを開催した。

【 高齢者向け住まいの運営適正化・質の向上セミナー  
～消費者に選んでいただける住まいを目指して～ 】

○日 時 2018年2月19日(月)13:00～16:45

○会 場 エル・おおさか(大阪府立労働センター)エル・シアター(本館2階)  
(大阪市中央区北浜東 3-14)

○参加者 申込者 589名 当日参加者 458名

#### ○プログラム

講演1「高齢者向け住まいの適正な運営について」

公益社団法人全国有料老人ホーム協会事業部副部長 松本 光紀

事例発表1. 「～ 家族と共に私たちができること～

チーム All For One 」

株式会社アライブ・メディケア／池田みどり・佐藤綾香

事例発表2. 「情報リテラシーによるケアプランの浸透」

株式会社アクティブライフ／松下優奈・藤本亮

事例発表3. 「固定観念を見直して、介護の質向上を目指す

～ロボット介護機器・ICTをどう活用するか～」

オリックス・リビング株式会社／森川悦明・廣田朋也

講演2. 「適切なケアマネジメントに向けて」

桜美林大学教授 白澤政和様

**※具体的な講義内容については、別冊資料を参照。**

## (2) 参加者アンケート調査

参加者へのアンケート調査を実施した。

292名から回答を得た。以下はその結果である。

### 【参加者の状況】

○回答者 292名(ただし、設問によりn値は異なる。)

○職種 法人代表者16名、施設長170名。他に管理職、介護支援専門員、等。

○平均勤続年数 6.2年

### 【集計結果】

#### ①本セミナーの理解度

- ・よく理解できた 109 (39.1%)
- ・理解できた 166 (59.5%)
- ・あまり理解できなかった 4 (1.4%)

#### ②本セミナーは今後の業務に役立つと思うか。

- ・役立つ 264 (99.6%)
- ・役に立たない 1 (0.4%)

#### ③各内容について

##### ◎講演1. について

ア. 内容は参考になったか。

- ・参考になった 242(83.7%)
- ・ふつう 47(16.3%)
- ・参考にならない 0(0/0%)

イ. 内容に対する意見(原文ママ)

##### (制度改正について)

- ・介護報酬の説明がわかりやすかった。
- ・法改正について理解しました。
- ・法改正は有料とサ高住をもっとくわしく聞きたかったです。
- ・30年度介護報酬改定については、業務を行っていく上でとても参考になった。
- ・介護保険改定の内容をもう少し詳しく説明してほしい。
- ・改定についてくわしく話を聞けてとても良かったです。
- ・たくさんのデータをいただいた
- ・運営の適正化について理解を深めることができた。
- ・もっとじっくりと話を伺いたかった。
- ・もう少し時間をかけて頂きたかった。

- ・報酬改正について理解できて助かりました。
- ・4月の改定内容について気になっていたので、解りやすく説明していただき、非常に役立った。
- ・法律改正により、往診に来てくれなくなる可能性が知れて良かった。
- ・H30改正の話はポイントがつかめてわかりやすかった。
- ・介護報酬改定については、もう少し詳しい内容を聞いてみたい。
- ・私は1番、講演1が良かった。
- ・とても参考になった。
- ・松本光紀さんの講演が知りたい内容だったのですが、とてもわかりやすく説明して下さいました。今後の法改正に向けての準備に役立ってます。
- ・H30年度介護報酬改定について、改定されるポイントが理解できたので良かったと思います。

(入居契約チェックリスト案)

- ・利用者本位の考えを忘れずケアマネジメントする事で、施設運営の適正化や質の向上につながると改めて思う講義でした。
- ・チェックリストについて、施設と在宅の違いをご本人、ご家族が十分に理解されていない。当方も説明しきれないまま、契約する事により、ミスマッチが起こり、多々の問題が起きるような気がする。チェックリストをその理解が十分にされるように活用したい。
- ・入居契約チェックリストは現在使用中の分に追加すべき内容もあり、早急に対応していきたい。
- ・入居チェックリストの説明がよかった。運営上注意していかなければならないことが再認できた。
- ・運営していく上で、振り返りが必要な点、また今後運営していくために、準備や模索して、適切でまたご入居者が満足していただく様に努めていきます。
- ・松本先生のチェックリストの内容等、勉強になりました。
- ・施設運営をするにあたって勉強になりました。
- ・非常に役に立つと思う。今後も講演1の様な内容のプログラムは適時行って欲しい。
- ・今後行われるだろう行政の展開など、少し前に知る事ができた事は、良かったと思う。
- ・利用者意識が高まっている中、「入居契約チェックリスト」は利用者、事業所各々に重要な事項になると思います。
- ・入居者チェックリストについては、自施設において参考になる事が多かったと思われる。
- ・大変参考となりました。チェックリスト活用します。
- ・明確な今後の方針を発信して頂けたので、今後の運営の指針立てに役立てたいと思います。
- ・資料の配布だけで事足りると思う。
- ・見学者が入居契約時に何気なく行っていた説明でしたが、今一度契約書、重説を1つずつ項目を確認、抜けがないかの確認をしたいと思う。
- ・事務担当者が参加したほうがよい話の内容であった。(契約等、介護報酬についてなど)

◎事例発表1. (アライブ・メディケア)について

ア. 内容は参考になったか。

- ・参考になった 161(55.9%)
- ・ふつう 121(42.0%)
- ・参考にならない 6( 2.1%)

イ. 内容に対する意見(原文ママ)

- ・取り組める環境、知識、技術、モチベーション作りは素晴らしく、心が晴れた。
- ・認知症ケア、家族を巻き込んで一人の人の人生の生活を良い方向へすすめた、それが職員のやりがいになると思った。
- ・サ高住にも参考になりました。
- ・自分たちもチームでこのようなケアができればと思いました。

◎事例発表2. (アクティブライフ)について

ア. 内容は参考になったか。

- ・参考になった 142(49.5%)
- ・ふつう 127(44.3%)
- ・参考にならない 18( 6.2%)

イ. 内容に対する意見(原文ママ)

- ・情報リテラシーによるケアプランの浸透、情報共有に新しい型だと思い感心しました。
- ・習慣に慣れるのではなく、原因を探り改善を計る意欲を評価します。
- ・職員間の情報共有連携が取れた事例でよかった。申し送りで忘れられる事が多いが、利用者が多い中、工夫されている。
- ・情報ツールの活用や、申し送りの改善などの事例は自施設で活かせるのではないかと、とても参考になりました。
- ・ケアプランというのは予定の事なのでしょうか？私が考えるケアプランとは違っていたので、このようなケアプランというもあるのかと思った。
- ・情報の改善は良いですね。とても参考になりました。〈ケアプランのあり方〉×申し送りのあり方
- ・ご入居者の話をしっかりと傾聴して、それをシステム化や対応を変化させた事が素晴らしい。

◎事例発表3. (オリックス・リビング)について

ア. 内容は参考になったか。

- ・参考になった 169(61.5%)
- ・ふつう 97(35.3%)
- ・参考にならない 9( 3.2%)



#### イ. 内容に対する意見(原文ママ)

- ・職員の離職率を減らすのに IT やロボットの導入は必要になると思う。
- ・ロボット導入を試みたが、吊り上げられて怖いという声がありました。
- ・介護ロボットやリフトの導入についての話は、とても分かりやすく興味深い内容でした。
- ・ロボット介護機器の話が大変興味もてた。
- ・ロボット介護機器の事例発表は大変参考になりました。当施設での導入を検討していくきっかけになりました。
- ・事例発表 3 に関して、近未来的なイメージであったが、もうすでに IT 化が近づいているなど感じました。
- ・ロボット介護、ICT について詳しく知りたいと思いました。
- ・オリックス・リビングで実施している介護と自社の介護を比べると、自社は遅れており参考となる点、考え方が多くありました。
- ・情報共有、自施設の課題でもあるが、PC を使えない人が多い中、参考になる所、そうでない所があったが、やり方はすばらしいと感じた。
- ・情報の共有の大切さが参考になった。
- ・ロボット化は日本のテーマですね。もっとコンパクトに軽く、そんな機器がほしいですね。
- ・ロボットや IT の介護への導入が一番興味深かった。
- ・介護業務の円滑化→時間の余裕→質の向上は見本としたいが、大掛かりは無理なので、小さくやっていきたい。
- ・TV でロボット介護のニュースを見た事があったが、全く出来ないと思っていたが、観点を変えると出来ると思った。
- ・ロボットが大きすぎるため、リフトをあちこちに運んで移動して次の部屋というのは、現実的ではない。もっと小型化、簡素化をお願いしたい。(腰痛ベルト並の手軽さがあれば普及すると思われる。)

#### ◎講演2. について

##### ア. 内容は参考になったか。

- ・参考になった 181(69.1%)
- ・ふつう 75(28.6%)
- ・参考にならない 6( 2.3%)

#### イ. 内容に対する意見(原文ママ)

- ・考え方、着眼点、非常に理想的な内容であった。
- ・基本的で大切な考え方を学びました。
- ・自分のしたかったことを明確化してもらった内容でした。しかし、実地化にあたり、多大なコストがかかることが予想され、どうクリアしていくか、考えさせられました。
- ・ミスマッチにならないケアプランの作り方がよくわかった。事例発表 1 にあった認知症対応(ケア)について、他の事例等をもっと聞きたい。
- ・”CM の公正中立”は公正中立は誰に対しても行う、専門職としての自立性をどうもたせるのかという話しが興味深かった。

- ・ケアマネとしてもプランの作り方、支援の考え方が参考になりました。
- ・その場での白澤先生の言葉はとても参考になります。必ずケアマネさんへ伝えてあげようと思います。
- ・白澤先生のケアマネジメントの話は、サ高住にとっても役に立ちます。
- ・利用者を中心としたケアマネジメントを考えるにあたって、すごく為になりました。
- ・みな普段から意識せずに出来ていると思うような内容。さすが大学教授さん、つまらない。
- ・本来の自立支援の考え方や支援を現場がどれだけできるか、近づけていけるか、課題はたくさんあると感じる。
- ・白澤先生の話はためになりました。
- ・深く学びたいと思いました。
- ・ケアプラン作成、ケアマネージャーには参考になるとは思った。
- ・その他職種のかかわり方について、具体的な方法を知りたいと思った。”
- ・ケアマネジメントについては考え方を変えないとダメだと思う所が多々あった。
- ・白澤先生のお話とても理解出来ました。ありがとうございました。努力します。
- ・対象がケアマネ向けか？利用者様のニーズや自立支援については理解できますが、ケアプランの活かし方など、もう少し現場よりの話をききたかった。
- ・少し難しくあまり理解できませんでした…もう少し簡単にお願いしたいです。
- ・白澤先生とお話できて光栄でした。
- ・ケアマネージャーに偏った内容に感じました。
- ・CM の評価には疑問”
- ・「適切なケアマネジメントについて」の内容は、当サ高住は 90%が外部 CM のためあまり参考にならなかった。
- ・理想と現実、現場を知らない人の机上の話は参考にならないと思います。
- ・ケアマネージャーには参考になったと思うが、高齢者向け住まいの事業者には、他の講演にしてほしかった。

● 今回のセミナー全般への意見(原文ママ)

- ・全てとても興味がある内容だった。
- ・勉強になります。この様な機会に又参加したい。
- ・講演 1 については、今後の体制として参考になった。できれば事例、講演 2 の時間を大変申し訳ないですが、もう少し減らし、講演 1 をもっと時間をとって頂けたらと思いました。
- ・興味深く聞いて良かったです。
- ・勉強になりました。
- ・役立つ内容が多かった。ありがとうございました。
- ・「訪問介護」のしほりでもできることも考えなければならない。”
- ・有意義で良かったです。
- ・具体的な内容でとても参考になりました。有難うございました。
- ・講演内容が今後の仕事に為になる。
- ・事例発表や、介護保険の制度改正について、ケアマネジメントの問題点等の事を聞く事ができ、非常に有意義な研修でした。

- ・入居一時金の保全について、保全の手数料が高すぎるので、有料老人ホーム協会で保全してほしい(割安に)
- ・このような事例発表の機会を多く持って欲しい。
- ・よりよい施設、業界が発展するようセミナー開催を期待しております。
- ・毎回セミナーにて新しい事例や試みを体感でき、とてもありがたいです。
- ・職員の質について、事業者の志、無関心によって向上する施設とそうでない施設が出ており、利用者が不利益をこうむることがあります。そうならない為の施策をたててほしいと思います。
- ・現場はこうしたいと思っても、経営者等トップに立つ人が何も感じなければ、何も良い方向への変化はうまれないので、中間層にいる職員はあきらめモードとなり、何も良い方向へ動かない、動けない。”
- ・貴重なセミナー等開催頂きありがとうございます。
- ・今後も定期的に開催して欲しいと思います。
- ・市町村でこういう研修をやってほしい。
- ・地域ごとにセミナーをしてほしい。
- ・実践的で良かったです。継続を希望します。
- ・今後も色々なセミナーを開催して頂きたいです。本日はありがとうございました。
- ・研修先のセンターのイスはどうしていつもせまいのでしょうか。平成の終りになるのに人間は大きくなっているのに…。エコノミー症候群になりますよ。そのうちだれか…。
- ・会場の座席がせまくて身体が痛くなりました。
- ・会場が狭いので、広い会場で開催してほしい。
- ・好事例発表について、事例はすばらしい。その取り組みを文章にし、まとめて発表できるのはすごいと思います。
- ・全ての事例について、とても参考になりました。日々の業務に追われ、ご利用者様主体のサービスがなかなか出ていない現状ですので、見直すきっかけになりました。
- ・事例発表を自分の施設にも取り入れたいと思い参考になりました。
- ・介護保険の改定内容や他事業所の悩みや取り組みを知る事ができて、すごく良かった。本日のセミナーを参考にして今後も質の向上に努めていきたいです。
- ・サービス事業所や施設の現場の職員は、年齢層が上がっているので、離職が多いと思う。  
やはり若者にこの仕事のやりがいをもっともっとしらないといけないと思う。(給与面、報酬面)”
- ・利用者様の自立支援に向けて大変参考、勉強になりました。
- ・事例はいつも参考になる。
- ・利用者の立場にあった支援の様々な方法について聞けたのでよかった。全てを同じようには出来ないが、参考にし  
てよりよい在宅生活支援を行っていきたい。
- ・事例発表で時間をとりすぎている。一般スタッフには参考になるかも知れないが、管理者向けの内容ではないと感じ  
た。
- ・他施設の問題点、取込内容を知る事は大変有意義でした。
- ・事例 1、2 の事例発表により、今後参考になるヒントがみつかりました。事例発表を今後も聞いていきたいと思いま  
した。
- ・事例発表 3 件聞かせて頂き参考になりました。当施設でも受け入れたいと思うような発表が聞けて良かった。

- ・大規模な有料老人ホームの発表が多かった。人員が少ないホームでは、新しい取り組みに十分な時間や人員が足りない。
- ・事例等は施設に持ち帰り、自施設に合わせた方法で現場にいかしていけたらいいなと思います。
- ・全ての発表において社会資源の使い方が重要だと感じた。何をお客様の為に選択するかが大事だと思う。
- ・新しい取り組みや時代の変化について、わかりやすく自施設にて試してみたいと思います。
- ・事例発表がとても参考になる。
- ”・事例について良いと思うが、介護付だからできていることも感じられた。
- ・事例が特に興味深かった。時間や費用がないとできないと思っていたが、実現する為にはどうするかをスタッフ皆で考える事が一番大切な事だと実感した。
- ・現場に即した内容が織り込まれ良かった。
- ・事例検討については、理解し易かった。
- ・介護付と住宅型では多少違いはあるが、リンクする事が多く、自ホームでも取り組んでいきたいと思いました。
- ・大変参考になります。実践出来る、してみようと思える内容でした。
- ・事例の発表がもう少し多くても良いと思った。その方がより現場としては役に立つと思うからです。
- ・事例発表は、すばらしいと思った。
- ・卓上と現場、理解の差が大きい。参考になるが現実には難しいと思われる。自宅で暮らせない人が施設に入る。お金の無い人も多い。
- ・事例 2、3 については参考にはしたいが、現実的にはまだむずかしいと思った。  
個で良くしていくのではなく、全体で良くしていく視点が大切だと感じました。”
- ・介護が閉鎖的にならない様に、外部の事例を少しずつでも参考にして行く為のセミナーに行きたいと思いました。
- ・事例発表の取り組みは良いが、人員に余裕があるため行えている様に思える。
- ・本日も主任ケアマネージャーの更新研修がおこなわれています。内容は今日白澤先生が言われた事とはちがう方向であると思われます。
- ・今回成功事例が多く、勉強になった。
- ・個別化をする中でよく説明を組み込んだ内容にするには、本人様をとりまく環境を密にする必要がありますが、現状で困難になっています。施設の一人歩きが進んでいます。
- ・各法人様のプレゼンについては、ほぼ全ての法人運営に役立つ内容になっていると思う。
- ・事例発表では常に問題意識をもち、問題解決のために積極的に取り組む大切さを学びました。
- ・それぞれの取組み事例から、参考になる事を取り組んでいきたい。
- ・事例発表 1・2 について、管理者が主に集まる研修において必要でしょうか？疑問に思いました。
- ・休憩が少しではあったが、しっかり耳を傾けることが出来た。

④今後、今回の様なセミナーを実施する場合に希望するテーマ

主な意見

(経営・ホーム運営)

- ・役職それぞれの仕事について。施設長、相談員 etc…、施設の NS、CW、etc…。
- ・経営、資源活用、国の政策を積極的に活用した経営モデルの提案
- ・有料老人ホーム実施指導について
- ・現代に期待される施設とは
- ・「施設外サービス」「収益向上」
- ・社会資源を活用しての介護サービス(いかに活用するか)
- ・経営資源にめぐまれた大企業ではなく、人的にも資金的にも厳しい中小の事業所の現実をよく分っている方の話が聞きたい。
- ・定期巡回を聞きたい。住宅型の書類はなにが必要なのか知りたい。
- ・サ高住で、入居待機者がいる所などがあれば、何故人気なのか知りたい。体制やサービスシステム等。
- ・適正なホームの運営と、自立支援に対しての具体的取組みについて
- ・住宅型有料老人ホームの施設でありながら、在宅介護という中でのグレーゾーンの部分
- ・今後の介護保険改定について
- ・運営適正化についての具体(化)策
- ・介護報酬の内容
- ・10年後の施設の在り方
- ・防災(マニュアル作成(書式))について、即実践出来るセミナーや情報提供を受講したい。
- ・介護型、住宅型の整理が必要

(職員・人事管理)

- ・職員の質の向上
- ・離職の原因改善策の事例
- ・介護職員に対しての就業時間、業務について
- ・責任者への過度な業務
- ・離職低下の工夫
- ・専門性の高い(人材育成の取組み)等のセミナー開催を希望します。
- ・職員に対するメンタルヘルス
- ・アンガーマネジメント
- ・人材を人財にする為はどうされているか
- ・外国人労働者
- ・介護職員を利用者や家族から守
- ・人材の育成方法
- ・どの様にすればスタッフが申し送り事項を正しく受け取る事が出来るか？(同じ情報を流しても、スタッフにより真逆に取っている場合がある)

- ・職員に対してのマネジメントや、介護職への離職について
- ・施設長の役割、今後の法改正について、入居者の家族や入居者から職員を守るため(事例など)

(入居者対応)

- ・施設等に入居している方のご家族との関わり方
- ・身体拘束を防ぐには
- ・虐待防止対策
- ・精神状態不安定の人への対応(不穏者対応)
- ・精神性疾患のご入居者様との関わり方
- ・認知症高齢者への関わり方
- ・福祉用具の活用
- ・苦情対応について
- ・運営懇談会のすすめ方
- ・看取り、その後のケア
- ・介護の成果とは。
- ・介護支援経過記録の行方
- ・施設の夜間体制、日中の取り組み
- ・契約書関係や苦情等に関すること(サ高住)など、看取りのあり方など
- ・認知症(行動障害)ケア
- ・頻尿への対応、排泄ケア
- ・サ高住で、どこまでの介護を出来るか、その為に対応出来る職員、設備の大切さ
- ・サービス付高齢者住宅でニーズの多い方、サービス内容及び依存症の高齢者の受け止め、クレーマー、頻りにコールするニーズ(自身で何もしない)

(事例発表)

- ・他施設での取り組み事例
- ・介護施設の医療体制
- ・現場の声、事例をもっと聞かせてほしい。
- ・サ高住等で行われている充実した1日を送っている事例等聞いてみたい。
- ・住宅型の具体的な事例
- ・より良い施設を目指すために、最先端の取込みをされている施設の事例発表を期待します。
- ・ケアマネジメントを実現する方法について
- ・認知症の方事例検討や、地域とのかかわり方、運営懇談会の参考になる事例など聞いてみたい。
- ・自立支援の成功事例。自立支援を目標としたくても、スタッフ人員状況、ケアのゆとりもなく、本人主導というよりも、施設都合になりがちです。”
- ・保険外サービスの事例等
- ・低所得者のサービスに限界があります。その事例をあげ、ディスカッション、研修発表を希望します。

- ・うちはサ高住なので、サ高住での取り組みの事例をききたいです。
- ・苦情、トラブルの事例、解決結果
- ・認知症の方に対するケアの事例
- ・苦情対応事例や事故の対応事例は知りたいと思います。

## ⑤行政に対する意見

- ・厳しい状況に私を含め職員の意欲を上げるのが困難な状況だが、本来、利用者の意欲を上げる仕事であるわけだから、諦めないように取り組もうと思う。
- ・業務連絡を事業所にメールアドレスを登録させて、それに送信してほしい。
- ・自治体ももう少し現場の声を聞いてほしいと思う。
- ・医療と介護の連携と言っているが、当事者家族様、自治体の理解がなさすぎると思います。  
※地域密着も！！サービス事業者だけじゃなしに、地域の民生委員等、活用してみれば！”
- ・介護度の高い方が入居されて軽くなったら、これこそ報酬がつくべきだと思う。
- ・介護の人手不足はいつ解消するのでしょうか。
- ・府内の(又は市町村内での)介護サービスの良い事例、悪い事例の公開、共有を行ってほしい。
- ・大阪府の発言が弱い気がします。特に市町村に関しては協力的ではないと感じる事がありました。(高齢介護課)ある市です。
- ・行政の書類やアンケートが多すぎて、負担が多い。現場はただでさえ人が少ないので、配慮をお願いしたい。
- ・ケアマネ研修は高い研修費用が必要ですか。適正に使われているのでしょうか？
- ・介護報酬改定は毎回、毎回ギリギリまでなぜ確定されないのか、いつも現場がバタバタする。
- ・実地指導等の際、確実にチェックし指導しなければいけない点を、誰が見ても同じ指導チェックしてもらいたい。
- ・ロボット、リフト導入するにもコスト面で不安。自治体からの補助検討等ありませんか？
- ・実地指導や立ち入りで今後きちんとしていきたいと思う者も多くいるが、会社がそれを良く思わなければ、結局できない。もっとしっかりチェックし指導してほしい。
- ・行政の立ち入り検査、指導等において、ともすれば行政パワハラ的な要素がある。市町村、府による立ち入りは、検査官の主幹によるのでは？と感じる。
- ・市町村は保険上で決められた事に対して書式や考え方など、分りやすく指導して欲しい。”
- ・特養や特定施設などの施設が不足し、入居を希望する人が入れないので、サ高住が増えている、と思っているのですが、困りこみと言われられないようにとか、住宅と介護保険サービスをしっかり切り離すとか、サ高住の運営はとても大変です。
- ・生活保護の人も入居できる場所が増え、よかったですと思いますが、生保の人が増えすぎると、生保ビジネスとか…。まじめに運営しているところほど大変な気がします。”
- ・泉大津でも法律改正により往診に来てくれなくなるのかが不安。
- ・情報を一元化してほしい。
- ・利用者、事業所においても、もっとシンプルなシステムの構築をして欲しい。
- ・役所の各課が1人の利用者の事について連携が全くされなくて、困る事があります。

- ・2025年の高齢化問題の前に、今から成すべき事を示して欲しい。
- ・ITC活用から紙での管理が必要でない方向を推進してほしい。
- ・もっと考えて下さい。今のままでは介護職が減ります。もっと報酬を増やす事。会社が利益を出せないとスタッフに分配できない。もっと書類の手間を減らす必要あり。
- ・必要性を検討する事なく減算はやめてほしい。
- ・資金的に高齢者が入り易い施設を多く建設してほしい(多床型特養？)(介護保険ホーム？)
- ・「囲い込み」の定義を明確にしてもらいたい。住宅系であれ、特定系であれ、ご入居者の安全・安定のためには身近な職員がケアするのが望ましい。財政本位の魔女狩りはやめてもらいたい。
- ・住宅系ホームのご入居者が危険にさらされ、働く職員が自信を失うような、官制の不評被害を直に是正すべきである。財政本位ではなく、利用者本位の行政運営を望む。”



## 2. 「入居希望者・事業者向け 入居契約チェックリスト」の策定

( 別 冊 )

**「平成 29 年度  
介護給付費適正化推進特別事業」報告書**

**平成 30 年 3 月 31 日  
公益社団法人全国有料老人ホーム協会**

**※本事業は大阪府の補助金により実施したものです。**